

# ふるさと わたしは“白鷹町”で働いています。

～町内企業でがんばる若者たち～



株式会社ハヤタ製作所

工藤 佑佳さん (荒砥・21歳)



## 企業データ

■株式会社ハヤタ製作所  
(白鷹町大字鮎貝 7391)

【事業内容】自動車電装品組立、プラスチック金型設計・製作

【従業員数】90人

【問い合わせ】

☎ 85-5977



高校時代の企業見学で当社を訪れた際、きれいな工場内で明るい雰囲気で作業されている様子や、女性従業員の方も多く、働きやすい環境が整っていると感じ入社を希望しました。入社して3年目を迎える現在は、車載ブザーの組立を担当しています。小さな部品を扱うので、とても繊細な作業が求められますが、人と車の安全と安心を守る電装品の一つとして、不良品を出さないように丁寧かつ正確に作業を行っています。また、いくつもの工程を経て完成する車載装置なので、それぞれの持ち場で組立を行っている方々にも迷惑をかけないように頑張っています。

当社では業務の効率化や品質の確保のため、月目標を設定し業務を行っています。目標が達成できた際には、喜びや達成感を感じます。まだまだ覚えることはありますが、少しでも会社に貢献できるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。



休みの日はライブに行ったり楽しんでます！

## 最上紅花に魅了された3年間、私の人生の財産となりました

白鷹町の皆さまに、地域おこし協力隊として最後のご挨拶となります。山形の紅花に魅了され、縁あって白鷹町に移住し、紅花関連の活動をさせていただきました。私にとって、最上紅花に携われる幸せな3年間の任期が終了となりました。勤務場所が地域の方々から活躍される「コミュニティセンター」ということもあり、広い方面の方々から、たくさんの温かなご支援とご協力をいただきました。そのお陰で、周囲から心配された雪国暮らしも乗り越え、元気に楽しく生活することが出来ました。地域の皆さまには心より感謝とお礼を申し上げます。四季折々の里山の風景が美しく、また、身近に美味しい食材がたくさんあり、そして親切な方々がいる、そんな白鷹町の素晴らしさを実感する日々でした。



紅花は海外や日本の各地で栽培されているようですが、歴史ある山形の最上紅花は貴重だと思えます。古来からの紅餅作りは、「日本の紅をつくる町」の財産です。紅花は花だけでなく、葉や茎や根のすべてが活用でき、商品化できる可能性があります。そのアイデアの半ばで退任ということですが、残念に思うところですが、紅花の栽培から商品化までの一連の作業工程を体験できたことは、今後、一人として行う紅花関連の創作活動での大きな自信となります。最後に、白鷹町がこれからさらに飛躍し活力ある町になることを心から確信いたしております。地域の皆さま、本当にありがとうございました。